

大学院等の概要を記載した書類

事項		記入欄						備考	
設置者		秋田県							
大学院の名称		秋田県立大学大学院							
大学本部の位置		秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番7							
大学院の目的		秋田県立大学の教育研究機能を一層強化することにより、21世紀を展望した県内外の人材需要へ対応するとともに、学部からの進学や社会人の再教育へのニーズに応え、併せて、地域科学技術基盤形成の中核として、地域産業の振興、文化の向上など県勢の発展に寄与する。							
申請学部等の名称	申請学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設の時期及び開設年次	所在地	(基礎となる学部) システム科学技術学部 機械知能システム学科 システム科学技術学部 電子情報システム学科 システム科学技術学部 建築環境システム学科 システム科学技術学部 経営システム工学科  14条特例の実施 (前期後期すべての専攻)
	システム科学技術研究科	年	人	年次人	人		年 月 日 第 年次	秋田県本荘市土谷字海老ノ口84番4	
	博士課程(前期)						平成14年 4月1日 第1年次		
	機械知能システム学専攻	2	18	—	36	修士(工学)			
	電子情報システム学専攻	2	18	—	36	修士(工学)			
	建築環境システム学専攻	2	7	—	14	修士(工学)			
経営システム工学専攻	2	7	—	14	修士(工学)				
博士課程(後期)						平成14年 4月1日 第1年次			
総合システム科学専攻	3	8	—	24	博士(工学)				

学部、学科その他の名称	教授	助教授	講師		計		助手	後期課程の専任教員は前期課程の専任教員の一部が担当する。	
	専任	専任	専任	兼任	専任	兼任	専任		
システム科学技術研究科	人	人	人	人	人	人	人		
博士課程(前期)	32(32)	19(19)	8(8)	3(3)	59(59)	3(3)	0(0)		
機械知能システム学専攻	9(9)	6(6)	2(2)	0(0)	17(17)	0(0)	0(0)		
電子情報システム学専攻	10(10)	8(8)	2(2)	3(3)	20(20)	3(3)	0(0)		
建築環境システム学専攻	6(6)	2(2)	3(3)	0(0)	11(11)	0(0)	0(0)		
経営システム工学専攻	7(7)	3(3)	1(1)	0(0)	11(11)	0(0)	0(0)		
博士課程(後期)	30(30)	15(15)	6(6)	1(1)	51(51)	1(1)	0(0)		
総合システム科学専攻	30(30)	15(15)	6(6)	1(1)	51(51)	1(1)	0(0)		
計	32(32)	19(19)	8(8)	4(4)	59(59)	4(4)	0(0)		
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事務職員		46人 (46)		0人 (0)		46人 (46)		
	技術職員		7 (7)		0 (0)		7 (7)		
	図書館専門職員		2 (2)		0 (0)		2 (2)		
	その他の職員		1 (1)		0 (0)		1 (1)		
	計		56 (56)		0 (0)		56 (56)		
校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用等		計		秋田県立大学短期大学部と共用	
	校舎敷地	294,599.35 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	56,724.80 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		351,324.15 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )			
	運動場用地	109,881.60 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	87,169.41 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		197,051.01 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )			
	小 計	404,480.95 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	143,894.21 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		548,375.16 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )			
	そ の 他	271,417.69 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	1,903,170.52 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		2,174,588.21 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )			
	合 計	675,898.64 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	1,903,170.52 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	143,894.21 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		2,722,963.37 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )			



校 舎	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	大学院棟 7,164.00 m <sup>2</sup>	
	78,622.17 m <sup>2</sup> (71,458.17 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	78,622.17 m <sup>2</sup> (71,458.17 m <sup>2</sup> )		
教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	47 室	6 室	118 室	5 室 (補助職員 3 人)	2 室 (補助職員 2 人)	
専 任 教 員 研 究 室	申請学部等の名称	15 m <sup>2</sup> 未満	15 m <sup>2</sup> から 20 m <sup>2</sup> 未満	20 m <sup>2</sup> 以上	計	学部教員研究 室を使用 (学部教員が 大学院を担当 するため)
	機械知能システム 学専攻	0 室	0 室	19 室	19 室	
	電子情報システム 学専攻	0	0	20	20	
	建築環境システム 学専攻	0	0	12	12	
	経営システム工学 専攻	0	0	12	12	
計	0 室	0 室	63 室	63 室		
図 書 ・ 設 備	申請学部等の 名称	図書 [外国書] 冊	学術雑誌[外国書] 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	システム科学 技術研究科	7,050 [2,350] ( 0 [ 0])	800 [ 300 ] ( 0 [ 0])	200 ( 0 )	1,500 ( 250)	0 ( 0 )
	計	7,050 [2,350] ( 0 [ 0])	800 [ 300 ] ( 0 [ 0])	200 ( 0 )	1,500 ( 250)	0 ( 0 )
図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
	4,867.32 m <sup>2</sup>	520 席	220,000 冊			
体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	4,198.75 m <sup>2</sup>	ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	314.24 m <sup>2</sup> (2 室)			
		テニスコート	10 面			
		野球場	1 (両翼 100 ㍎)			
		陸上競技場	2 (400 ㍎/周)			

経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費(旅費を含む)については学部設置時に大学院設置を前提に措置している。			
	教員1人当りの研究費	2,695千円	2,695千円	2,695千円				
	教員1人当りの研究旅費	0千円	0千円	0千円				
	共同研究費等	0千円	0千円	0千円				
	海外研究旅費	0千円	0千円	0千円				
	図書購入費	0千円	80,000千円	0千円				
	設備購入費	36,000千円	959,000千円	0千円				
維持方法	学生1人当りの納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第1年次は授業料(年額)入学金、検定料の合計。		
		790.8千円	496.8千円	496.8千円	496.8千円			
学生納付金以外の維持方法の概要	毎年度秋田県一般会計予算において、管理運営費、学生教育費、教員研究活動推進費等の必要経費を見積もりし、計上している。歳入項目としては、授業料の他に、入学金及び検定料がある。							
既設大学の状況	大学の名称	秋田県立大学						
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	定員超過率	開設年度	所在地
	システム科学技術学部	年	人	年次人	人	倍	平成11年度	秋田県本荘市土谷字海老ノ口84番4
	機械知能システム学科	4	80		240	1.01		
	電子情報システム学科	4	80		240	1.04		
	建築環境システム学科	4	40		120	1.04		
	経営システム工学科	4	40		120	1.04		
	生物資源科学部						平成11年度	秋田県秋田市下新中野字街道端西241番7
	応用生物科学科	4	40		120	1.04		
	生物生産科学科	4	40		120	1.08		
生物環境科学科	4	30		90	1.05			
大学の名称	秋田県立大学短期大学部							
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	定員超過率	開設年度	所在地	
生物生産学科	年2	人60	年次人	人120	倍1.21	昭和48年度	秋田県南秋田郡大瀧村字南2丁目2番地	
農業工学科	2	30		60	1.17			

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
システム科学技術研究科 (前期課程)									8 単位以上選択  (最大4単位まで認定)
共通基礎・学際科目									
プレゼンテーション	1		2		★				
実践英語A	1		2						
英語プレゼンテーションA	1		2						
風土・文化構造論	1		2						
産業社会と倫理	1		2						
感性情報と環境の心理	1		2						
フィールドワーク (実践科目)	1・2		2		★	★	★		
知的所有権論A	1		2		★	★			
標準化論A	1		2		★	★			
信頼性工学A	1		2		★		★		
失敗工学A	1		2		★				
共通基礎・学際科目の合計			22						

授業科目の概要



授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
専門科目									選択科目から 12単位以上選択 必修科目を含め 22単位以上履修
機械知能システム学専攻									
固体力学	1		2			1			
先端材料学特論	1		2		1				
材料評価論	1		2		1				
応用有限要素解析	1		2			1			
機械構成論	1		2		1				
超精密加工学	1		2				1		
熱工学特論	1		2			1			
流体力学特論	1		2		1				
プラズマ工学	1		2		1				
計算力学特論	1		2		1				
機械力学特論	1		2				1		
エネルギーシステム学特論	1		2			1			
燃焼工学	1		2		★				
高度数値シミュレーション学	2		2		★	★	★		
制御工学特論	1		2		1				
ロボット工学特論	1		2		1				
三次元CAD運用論	1		2		1				
知能化機械設計論	1		2		★				
メカトロニクス特論	1		2			1			
機械知能学特論	1		2			1			
機械知能システム学専門セミナー	1	4			★	★	★	(専攻全教員で担当)	
機械知能システム学課題研究 (修士論文)	1~2	6			★			(専攻全教授で担当)	
機械知能システム学専攻専門科目の合計		10	40		9	6	2		

授業科目の概要

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
電子情報システム学専攻									選択科目から 12単位以上選択 必修科目を含め 22単位以上履修
電磁理論特論	1		2		1	★			
地球電磁環境論	1		2		★	1			
電磁環境工学	1		2		1				
通信システム特論	2		2		★		1		
システム制御工学特論	2		2		★	1			
エネルギー変換工学特論	1		2		1				
デジタル信号処理特論	1		2			2			
音響情報工学	1		2		1				
生体情報工学特論	1		2						
シミュレーション工学特論	1		2		1				
数値解析学特論	1		2			1			
情報ネットワーク特論	2		2		1	1			
計算機アルゴリズム特論	2		2		1				
情報数理論	2		2		1		1		
ソフトウェア方法論	1		2		★				
固体物性工学特論	1		2			1			
半導体材料・プロセス工学	1		2		1				
光機能デバイス工学	2		2		1				
電子デバイス特論	1		2			1			
情報記録デバイス工学	1		2						
電子情報システム学専門セミナー	1	4			★	★	★	(専攻全教員で担当)	
電子情報システム学課題研究 (修士論文)	1~2	6			★			(専攻全教授で担当)	
電子情報システム学専攻専門科目の合計		10	40		10	8	2		

授業科目の概要

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
建築環境システム学専攻									選択科目から 12単位以上選択 必修科目を含め 22単位以上履修
都市計画学	1		2		1				
都市・建築設計論	1		2		★		1		
視環境・色彩計画学	1		2		1		★		
環境設計論	1		2			1	★		
都市防災学	1		2		1	★			
都市環境論	1		2			★	1		
地盤工学	1		2		1	★			
基礎設計論	1		2		★	1			
塑性設計学	1		2		1				
大架構設計論	1		2		★				
先端材料学	1		2		1		1		
木質構造設計論	1		2		★		★		
都市・建築設計(演習)	1・2		2		★	★	★	(最大6単位まで認定)	
建築環境システム学専門セミナー	1	4			★	★	★	(専攻全教員で担当)	
建築環境システム学課題研究 (修士論文)	1~2	6			★			(専攻全教授で担当)	
建築環境システム学専攻専門科目の合計		10	26		6	2	3		

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
経営システム工学専攻									選択科目から 12単位以上選択 必修科目を含め 22単位以上履修
応用確率統計特論	1		2		1				
環境リスク管理技術特論	1		2		1	★			
経営情報システム特論	1		2		1	1			
システムモデリング論	1		2		★	★			
社会経済学特論	1		2		1		1		
生産管理特論	1		2		1				
経営意思決定論	1		2		1				
会計システム論	1		2			1			
製品技術システム論	1		2		1	1			
経営システム工学専門セミナー	1	4			★	★	★	(専攻全教員で担当)	
経営システム工学課題研究 (修士論文)	1~2	6			★			(専攻全教授で担当)	
経営システム工学専攻専門科目の合計		10	18		7	3	1		



授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
(後期課程)									
総合システム科学専攻 共通基盤科目									選択科目から 4単位以上選択
ベンチャービジネス特論	1		2		★				
ベンチャー企業論	1		2						
実践英語B	1		2						
英語プレゼンテーションB	1		2						
知的所有権論B	1		2		★	★			
標準化論B	1		2		★	★			
信頼性工学B	1		2		★		1		
失敗工学B	1		2		★				
総合システム科学特別講義	1		2		★	8	1		(専攻全教員で担当)
総合システム科学特別研修	1		2		★	★	★		(専攻全教員で担当)
学際専門科目									選択科目から 4単位以上選択 必修科目を含め 12単位以上履修
システム設計論Ⅰ	1		2		★				
システム設計論Ⅱ (持続可能社会システム)	1		2		★	★			
システム設計演習 (防災システム)	1		2		★	★			
システム設計演習 (高齢化社会対応システム)	1		2		★		1		
システム設計演習 (生態系システムデザイン)	1		2		★		1		
システムシミュレーション	1		2		★	2			
材料構造システム論	1		2		3				
熱流体知能化システム論	1		2		3				
生体知能化システム論	1		2		3				
電子システム論	2		2		3	2	1		
情報システム論	2		2		5				
電子デバイスシステム論	2		2		2	2			
建築環境計画論	1		2		2				
建築構造構成論	1		2		2				
都市環境制御論	1		2		2				
システムマネジメント論	1		2		2		1		
資源環境システム論	1		2		3	1			
博士論文課題研究	1~3	8			★	★	★		(専攻全教授で担当)
総合システム科学専攻科目の合計		8	54		30	15	6		

授業科目の概要

システム科学技術学部

教養基礎教育科目(4学科共通)

授 業 科 目 の 名 称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備 考	
		必 修	選 択	自 由	教 授	助教授	講 師	助 手		
教 養 基 礎 教 育 科 目 の 概 要	教 養 基 礎 教 育 科 目	文学・文化学Ⅰ イメージの世界	1・2・3・4		2		1			10単位以上選択
		文学・文化学Ⅱ 日本の美と東北の風土	1・2・3・4		2		★			
		文学・文化学Ⅲ 日本語の表現	1・2・3・4		2		★			
		哲学・倫理学Ⅰ 生きることの意味について	1・2・3・4		2		1			
		哲学・倫理学Ⅱ 利己主義について	1・2・3・4		2		★			
		哲学・倫理学Ⅲ 生の倫理	1・2・3・4		2		★			
		心理学Ⅰ 発達と個性	1・2・3・4		2			1		
		心理学Ⅱ 認識と理解	1・2・3・4		2			★		
		心理学Ⅲ 空間と行動	1・2・3・4		2			★		
		社会学Ⅰ 現代家族の諸相	1・2・3・4		2					
		社会学Ⅱ 近代市民社会の秩序	1・2・3・4		2					
		経済学A 豊かな生活を求めて	2・3・4		2					
		経済学B 人間発達の経済的条件	2・3・4		2					
		総合科目Ⅰ 人間と環境	2・3・4		2		★	★		
		総合科目Ⅱ 生活と情報	2・3・4		2		★	★		
外 国 語	LLⅠ	1	2		★	1		1	選択科目から6単位以上 選択 必修科目を含め12単位 以上履修	
	LLⅡ	1	2		★	★		★		
	総合英語	1	2		1	★				
	英会話Ⅰ	2		2	1	1				
	英会話Ⅱ	2		2	★	★				
	英作文Ⅰ	2		2	1					
	英作文Ⅱ	3		2	★					
	英文講読Ⅰ	2		2	★					
	英文講読Ⅱ	2		2		★				
	英文講読Ⅲ	3		2	★					
保 健 体 育	体育実技Ⅰ 健康と体力	1		1					2単位以上選択	
	体育実技Ⅱ ゲームと技能	2		1						
	保健体育 健康の科学	1・2		2						
情 報 科 学	コンピュータリテラシーⅠ	1	2						4単位必修	
	コンピュータリテラシーⅡ	1	2							
教養基礎教育科目の合計			10	52		5	4		1	



・機械知能システム学科

授 業 科 目 の 名 称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備 考
		必 修	選 択	自 由	教 授	助 教 授	講 師	助 手	
シ ス テ ム 科 学 技 術 基 礎 科 目	創造科学の世界A	1	2		★				※1の中から2単位以上 選択 それ以外の選択科目から 2単位以上選択 必修科目を含め30単位 以上履修  ※1
	科学技術史	1	2		★				
	環境科学	1	2						
	ベンチャー・ビジネス論	4		2					
	システム科学Ⅰ	1	2			★			
	システム科学ⅡA	1	2			★			
	システム科学演習A	2	2			★		★	
	電子情報システム学概論	2		2					
	建築環境システム学概論	1		2					
	経営システム工学概論	2		2					
	線形代数学	1	2		★	★			
	解析学Ⅰ	1	2			★			
	解析学Ⅱ	1	2		★	★			
	工業数学	2	2				★		
	確率・統計学	1		2					
	基礎物理学	1		2	★				
	物理学Ⅰ	1	2		★				
	物理学Ⅱ	1	2		★				
	物理学実験	1	2		★	★		★	
	化学Ⅰ	1		2					
化学Ⅱ	1		2						
化学・生物学実験Ⅰ	1		2						
生物学	2		2						
地球科学	2		2						
専 門 科 目 義	材料力学Ⅰ	2	2		1				選択科目から18単位以 上選択 選択科目には10単位ま で、他学科の専門科目を 算入できる。 必修科目を含め66単位 以上履修
	材料力学Ⅱ	2		2		1			
	固体力学	3		2	★				
	機械材料学	1	2		1				
	知能材料学	2		2	★				
	破壊力学	3		2		1			
	熱力学Ⅰ	2	2		1				
	熱力学Ⅱ	2		2		1			
	熱エネルギー変換工学	3		2		1			
	流体力学Ⅰ	2	2		1				
	流体力学Ⅱ	3		2		1			
	エネルギーシステム工学	3		2		★			
	計算力学	3		2	1				
機械力学Ⅰ	2	2				★			



授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
機械力学Ⅱ	3		2				1		
知能機械製作学	1	2			1				
加工工学	2		2				1		
生産システム工学	3		2		★				
コンピュータ援用設計学	2	2			1				
CAD/CAM	3		2				1		
マイクロマシン	4		2		★				
制御工学Ⅰ	2	2			1				
制御工学Ⅱ	3		2			1			
メカトロニクス	3		2		★				
機構学	1	2			★				
機械知能学	2		2			1			
ロボット工学	4	2			1				
応用数学Ⅰ	2	2							
応用数学Ⅱ	3		2						
数値計算	3		2			★			
計測工学	3		2			★			
機械知能システム学特別講義Ⅰ	3		2		★				
機械知能システム学特別講義Ⅱ	4		2		★				
機械知能システム学演習Ⅰ	3	1			★	★	★	2	
機械知能システム学演習Ⅱ	3	1			★	★	★	2	
機械知能システム学実習	2	2			★	★	★	2	
機械知能システム学実験	3	2			★	★	★	2	
設計製図Ⅰ	2	2			★		★	2	
設計製図Ⅱ	3	2			★		★	2	
セミナーⅠ	3	1			★	★	★	★	
セミナーⅡ	4	1			★	★	★	★	
卒業研究	4	8			★	★	★	★	
専門教育科目の合計		68	66		9	7	3	12	

授 業 科 目 の 名 称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備 考
		必 修	選 択	自 由	教 授	助教授	講 師	助 手	
システム科学技術基礎科目	創造科学の世界B	1	2		★				※1の中から2単位以上 選択 それ以外の選択科目から 4単位以上選択 必修科目を含め30単位 以上履修
	科学技術と文明	1	2		★				
	環境科学	1	2						
	ベンチャービジネス論	4		2					
	システム科学 I	1	2		1				
	システム科学 II B	1	2		★				
	システム科学演習B	2	2		★	★		★	
	機械知能システム学概論	2		2					
	建築環境システム学概論	1		2					
	経営システム工学概論	2		2					
	線形代数学	1	2		★	★			
	解析学 I	1	2		★				
	解析学 II	1	2			★			
	工業数学	2	2		★				
	確率・統計学	1		2					
	基礎物理学	1		2	★				
	物理学 I	1	2			★			
	物理学 II	1		2	★				
	物理学実験	1	2		★	★	★	★	
	化学 I	1		2					
化学 II	1		2						
化学・生物学実験 I	1		2						
生物学	2		2						
地球科学	2		2		★				
専門科目	電磁気学 I	2	2		1				選択科目から28単位以上 選択 選択科目には10単位まで、 他学科の専門科目を算入できる。 必修科目を含め66単位以上履修
	電磁気学 II	2	2		★	★			
	電気回路学 I	2	2			★			
	電気回路学 II	2	2		★	★			
	過渡現象論	3	2			1			
	応用数学	3		2		★			
	エネルギー工学	1		2	1				
	電磁エネルギー変換論	3		2	★				
	パワーエレクトロニクス	3		2	★				
	システム制御工学	3		2		1			
	量子力学	2		2	★				
	熱・統計力学	3		2		★			
	電気・電子材料	2		2		1			
	電子物性	2		2	1				
半導体材料	3		2	★					



授 業 科 目 の 概 要	専 門 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	授業科目の名称				専任教員配置				備 考
						配当年次	単位数又は時間数			教授	助教授	講師	助手	
						必修	選択	自由						
									★	★				
										★				
							2		1					
							2			1				
							2		★					
							2				1			
							2		1					
							2		★					
							2		★		1			
							2		★		1			
							2		★					
							2		★					
							2		★					
							2		★					
							2		★					
							2		★					
							2		★	1	★			
							2				1			
							2						2	
							2				★		3	
							2				★		3	
							2			1			3	
							1		★	★	★	★		
							1		★	★	★	★		
							8		★	★	★	★		
							60	78	10	8	2	11		



・建築環境システム学科

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考	
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手		
創造科学の世界C	1	2			★				※1	
科学技術史	1		2							
科学技術と文明	1		2							
環境科学	1	2			★					
ベンチャー・ビジネス論	4		2							
システム科学 I	1	2								
システム科学 II C	1	2			★		★			
システム科学演習C	2	2			★	★	★	★		
機械知能システム学概論	2		2							※2
電子情報システム学概論	2		2							
経営システム工学概論	2		2							
線形代数学	1		2						※1の中から2単位以上	
解析学 I	1		2						選択	
解析学 II	1		2						※2の中から2単位以上	
工業数学	2		2						選択	
確率・統計学	1		2						それ以外の選択科目から	
基礎物理学	1		2						16単位以上選択	
物理学 I	1		2						必修科目を含め30単位	
物理学 II	1		2						以上履修	
物理学実験	1		2							
化学 I	1		2							
化学 II	1		2							
化学・生物学実験 I	1		2							
生物学	2		2							
地球科学	2		2							
骨組の力学A	2	2			1				選択科目から26単位以上 以選択 選択科目には10単位まで、他学科の専門科目を算入できる。 必修科目を含め66単位以上履修	
骨組の力学A演習	2	1				★		1		
骨組の力学B	2	2			★					
骨組の力学B演習	2		1			★		★		
骨組の力学C	3		2			1				
鉄筋コンクリート構造	3	2			1					
鋼構造	3	2					1			
耐震構造の設計	3		2		★					
耐風・耐雪構造の設計	3		2				★			
建築材料基礎論	2	2			1					
建築材料性能論	3	2			★					
材料生産と環境	3		2				★			
建築環境基礎論	2	2			1					

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
授業科目の概要 専門科目 教育科目 実験・実習等	室内気候計画	2	2		★				
	室内気候計画演習	2		1	★			1	
	寒地建築の環境設計	3		2			1		
	建築音響学	3		2					
	環境評価	3		2				1	
	都市環境	3		2				★	
	都市安全	4		2		1			
	建築設計論	2	2			1			
	住居計画	2	2					1	
	施設計画	3		2				★	
	建築計画と風土	3		2		★			
	木質構造	3		2					
	建築設備	4		2			★		
	建築生産管理	3		2				★	
	建築法規	4		2		★			
	建築様式論	2		2					
	近代建築論	2		2					
	建築技術英語	3		2		★			
	建築材料実験	3	2					1	1
	建築基礎製図	2	2			★	★	★	1
	建築CAD演習	2	2			★		★	1
	建築CAD設計A	3	4			★		★	1
	建築CAD設計B	3	4			★	★	★	1
	セミナーA	3	1			★	★	★	★
	セミナーB	4		1		★	★	★	★
	建築学研修	4	4			★	★	★	★
卒業研究	4	8			★	★	★	★	
専門教育科目の合計		58	79		6	2	4	7	



授 業 科 目 の 名 称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備 考
		必 修	選 択	自 由	教 授	助教授	講 師	助 手	
システム科学技術基礎科目	創造科学の世界D	1	2		★				※1の中から2単位以上 選択 それ以外の選択科目から 6単位以上選択 必修科目を含め30単位 以上履修  ※1
	科学技術史	1	2						
	環境科学	2	2		★				
	ベンチャービジネス論	4		2	★				
	システム科学Ⅰ	1	2						
	システム科学ⅡD	1	2		★				
	システム科学演習D	2	2		★			★	
	機械知能システム学概論	2		2					
	電子情報システム学概論	2		2					
	建築環境システム学概論	1		2					
	線形代数学	1	2						
	解析学Ⅰ	1	2						
	解析学Ⅱ	1		2					
	工業数学	2		2					
	確率・統計学	1	2				★		
	基礎物理学	1		2					
	物理学Ⅰ	1	2						
	物理学Ⅱ	1		2					
	物理学実験	1	2						
	化学Ⅰ	1		2					
化学Ⅱ	1		2						
化学・生物学実験Ⅰ	1		2						
生物学	2		2						
地球科学	2		2						
専門科目	数理統計Ⅰ	1	2		1				選択科目から24単位以上 選択 選択科目には10単位まで、 他学科の専門科目を算入できる。 必修科目を含め66単位以上履修
	数理統計Ⅱ	2		2		1			
	数理計画法	2		2	★				
	応用確率論	3		2	★				
	品質管理	3		2		★			
	ミクロ経済学	1	2			★			
	計量経済学	2		2			1		
	マクロ経済学	3		2	1				
	社会システム論	3	2		★				
	ゲーム理論	2		2		★			
	人間工学	2	2		1				
	IE	2		2	★				
	生産管理	3		2	★				
	環境工学	2	2		1				
化学生態学	3		2	★					



授 業 科 目 の 概 要	授 業 科 目 教 育 目 的	授 業 科 目 名 称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備 考
				必 修	選 択	自 由	教 授	助教授	講 師	助 手	
専 門 教 育 目 的	講 義	環境リスクアセスメント	4		2		★				
		経営情報システム論	3	2			1				
		データベース	3		2				1		
		応用情報処理	2		2				★		
		シミュレーション	3		2				★		
		ヒューマンインタフェース	4		2		★				
		経営計画	3	2			1				
		OR	3	2			★				
		マーケティング	2		2				1		
		財務管理	3		2				★		
	実 験 ・ 実 習 等	経営組織論	4		2				★		
		素材物性	2		2				1		
		製品管理	3	2					★		
		研究開発管理	3		2		1				
		科学技術政策	4		2		★				
		産業心理学	4		2						
		経営工学演習Ⅰ	2	2			★	★		1	
		経営工学演習Ⅱ	3	2			★	★		2	
		経営工学演習Ⅲ	3	2			★	★		2	
		経営工学実験	3	2			★	★		2	
セミナーⅠ	3	1			★	★		★			
セミナーⅡ	4	1			★	★		★			
卒業研究	4	8			★	★		★			
専門教育科目の合計				58	68		7	5		7	

<p>附属施設の概要</p>	<p>名称 : 特殊排水処理施設  設置年月 : 平成15年4月  規模 : 65 m<sup>2</sup> (1F)  所在地 : 校地内に設置</p>
<p>自己点検・評価の実施に関する対応</p>	<p>教育研究水準の向上と、設置目的及び社会的使命を達成するため教育研究の活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、アカウンタビリティを追求することを目的に、自己評価委員会を学則に基づき設置するとともに、学部(研究科を含む)、研究所ごとの専門部会の設置を行う。項目には、「発表論文の数と内容、招待講演、学術誌の編集、リサーチグラントによる教員の研究者としての評価、教育、大学運営、学生による評価、学部に対する評価」等に加え、「社会への貢献に関すること」も項目とすることにより、秋田県立大学としての特色ある自己点検及び評価を行う方針である。</p> <p>また、評価等に関する情報収集を円滑にするため、(財)大学基準協会に12年度から加入しているが、今後大学評価・学位授与機構との関わりも検討しながら、外部評価実施体制の構築にも取り組んでいく。</p> <p>〈これまでの主な取組状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生による授業評価の実施に向けた準備(学生アンケート調査の試行)</li> <li>・教員の自己評価アンケートの実施</li> <li>・FD(ファカルティ・デベロップメント)専門委員会の設置</li> </ul>
<p>教育研究活動等の状況に関する情報の積極的な提供についての対応</p>	<p>受託研究や共同研究を通じた産学連携への取り組み、研究者リストの作成と提供、企業への教員の派遣及び技術指導、情報交換会の実施、大学の活動を理解し県民に高度な教育機会を提供する公開講座や講演会の実施、大学ホームページやインターネットによる教員の教育研究活動の直接的な紹介等、開かれた大学としての基本理念を実現するために積極的に取り組んでいる。</p>
<p>教育内容等の改善のための組織的な研究研修等の実施に関する対応</p>	<p>学内委員会にファカルティ・デベロップメント(FD)専門部会を設置し、教員のFD関係研修会の実施、教員相互の授業参観、学生による授業評価(11年度、12年度アンケート調査を試行済)、先進大学調査などの取り組みを行っている。</p>



